

平成 30 年 5 月 15 日
日本船主協会（企画部広報室）

海運の重要性および船員の仕事の魅力を
～奈良県立青翔中学校・高等学校にて講演・座談会を実施～

日本船主協会は、学校教育において、わが国の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業を取り上げていただくよう要請活動を展開しております。

昨年に引き続き 5 月 12 日（土）に、奈良県立青翔中学校にて、日常生活で接することのない「貿易や海運」およびキャリア教育の一環として「船員の仕事」に関する講演を行うとともに、新たな取り組みとして女性船員と女子生徒との座談会を、日本船長協会および商船三井の協力を得て行いました。

中学 1 年生（約 80 名）を対象に実施した講演会では、「外航海運の概要」と「船員の仕事」と分けて説明し、「外航海運の概要」では、衣食住・エネルギーのほとんどを海外からの貿易にたよっている、その貿易量の 99% 以上は船により輸送されているなど「私たちの生活は船によって支えられている」ことを説明しました。「船員の仕事」では、船員の仕事や船内での生活（食事やリフレッシュ方法など）の魅力が語られました。



講演会での質疑の様子

講演会後は、同高等学校 1・2 年の女子生徒（約 30 名）と女性船員との座談会が行われました。冒頭、同校教員より「女性の就業率が全国最下位である奈良県において、女性に夢を持ち、将来を考える機会となってほしい」との説明があり、女性船員からは、船員を目指したきっかけ、女性船員で困ったこと、やりがいなど女性生徒からの質問に答えました。

当協会では、今後もわが国の暮らしと産業を支える海事産業を広く知って頂くための活動を展開していきます。



日本船長協会 鐘ヶ江船長



商船三井 八重田二等航海士